

「本物」の力

9月11日に、公益財団法人：日本教育公務員弘済会主催の「一輪車講習会」を実施しました。

平成28年度にスタートした事業ですが、長崎県で開催されるのは今年が初めてであり、盈進小学校は、「長崎県で1番最初に実施していただいた学校」ということになります。

普段から、一輪車に親しんでいる子どもがたくさんいたので、「盈進小で一輪車講習会を実施できませんか」というお電話をいただいたときは、本当に嬉しく思いました。

二人の講師の先生のプロフィールを見ると、全日本大会や国際大会で何度も優勝経験のある方だったので、講習会当日を心待ちにしていました。

暑い中での2時間の講習会でしたが、講師の方の模範演技やグループに分かれての指導等があり、学びの多い時間であったと思います。模範演技を見る子ども達は、一つ一つの技に圧倒され、驚きと感動を味わったようでした。世界トップレベルの選手の指導を直接受けることができた子ども達は、本当に幸せだなあと思いました。また、数ある学校の中から盈進小学校に声をかけていただいたことに、改めて感謝の気持ちで一杯になりました。

その日の昼休みのことです。運動場を見ると、20名ほどの子ども達が、一輪車で遊んでいました。これまで一輪車で遊んでいなかった子どもや乗れなかった子どもが、一生懸命練習していました。熱い日差しが照りつける中、黙々と練習する姿をみて、改めて「本物」の力を感じました。

「本物」には、子どもの心を動かし、その行動を変える力があるということです。きっと、今まで乗れなかった子ども達も、毎日練習を重ねることで、きっと乗れるようになると思います。

さらに嬉しい出来事がもう一つあります。

「校長先生、もう一輪車がありません。」と声をかけてきた1年生の子どもがいました。運動場に出るのが遅くなって、すでに一輪車がなかったのです。しばらくして見ると、なんと一輪車の練習をしています。後から聞いた話ですが、上級生が自分が使っていた一輪車を貸してあげたそうです。自分も乗りたいけど、下級生のために譲ることができる子どもがいることをとても嬉しく思いました。早速「なかよし名人」認定です。

これからも「本物」に触れる機会を増やしていきながら、子ども達の心を揺さぶり、何かにチャレンジするきっかけにしていきたいと考えています。

